

令和5年度第1回天童市総合教育会議

日 時 令和5年10月24日（火）
午前10時から
場 所 本庁舎3階会議室

次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議・調整事項
 - (1) 教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について
 - (2) 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について
 - ア 不登校の対策について
 - イ 学校施設の暑さ対策について
 - (3) その他
- 4 閉会

(1) 天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について

基本目標



夢を持ち生きる力を育てる

学校教育課

確かな学力の育成

子ども一人ひとりを大切にし、個々の教育的ニーズに応じた適時適切な教育を推進するために、幼稚園・保育園、小・中学校の連携を密にしながら、義務教育9年間を見通して特別支援教育の視点を基盤に全ての教育活動を展開します。

また、各学校の特色を生かしながら質の高い授業を目指して授業改善に取り組むことにより、社会の中で生きて働く「知識・技能」を身につけ、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」を育成しながら、自らの学びを人生や社会づくりに生かそうとする「学びに向かう力」を涵養します。

《施策》

1 すこやかスクール充実事業 ～特別支援教育充実事業～

(1) すこやか巡回相談

全小中学校で実施：スクリーニングによる個に応じた教育的ニーズの把握と支援のあり方に関する助言、個別検査45人実施（9月末現在）

(2) すこやかスクール支援員及びインクルーシブ支援員の配置

小学校12校とアウタースクールに計20人のすこやかスクール支援員を配置

小学校3校に計3人のインクルーシブ支援員を配置

(3) 特別支援教育研修会

特別支援教育スキルアップ講座3回実施、延べ136人参加（9月末現在）

2 学力ジャンプアップ事業

(1) 校内研究推進支援事業

- ・研究授業の事前・事後研究会支援、授業づくりについての指導主事による訪問指導を実施
- ・教職経験2、3年次の教職員を対象に授業視察を実施し、授業づくりについて指導を行う

「市いじめ防止基本方針」に基づくいじめの未然防止対策を推進し、「いじめをしない、させない学校づくり」を目指すとともに、生徒指導に関する諸問題の早期発見・早期対応により、子どもが自尊感情を高めながら、生き生きと学校生活を送ることができる学校づくりを行います。

また、地域との緊密な連携のもと、「人、もの、こと、自然、文化」などの地域の魅力に触れる多様な体験を充実させ、子どもの郷土への愛着と誇りをはぐくみ、社会参加に向けた教育支援を推進します。

さらに、子どもの主体的なスポーツ参加を推進し、体力の増進とスポーツに親しむ心情を涵養し、将来、自立した市民として活躍できる心身ともに健康でたくましい子どもの育成を目指します。

《施策》

- 1 いじめ防止等スクールライフ充実支援事業
 - (1) 学級集団アセスメント検査実施
 - ・小学校2年生から中学校3年生までの全通常学級で、6月末まで1回目を実施
 - (2) すこやかスクール相談員の配置
 - ・各中学校と学校教育課に5人配置
 - (3) スクールソーシャルワーカー活用事業
 - ・いじめや不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を実施、相談延べ人数1671人（7月末現在）

- 2 ひと・もの・ことを活用した学校づくり体制整備事業
 - ・ふるさとに誇りと愛着をもち、ふるさとの未来を切り拓く力を身に付けるために、地域のひと・もの・こととのかかわりを通した子どもたちの学びの経験を充実
 - ・地域から専門的な知見を有する外部講師（＝地域の先生）を招聘し、地域のひと・もの・ことを関連づけた教育活動を実施

- 3 学校スポーツ・文化振興事業
 - 小学校陸上記録会・中学校各種大会出場者への補助

基本目標



社会の発展を牽引する人材を育てる

英語教育の推進

学校教育課

グローバル化が進む社会において、人権尊重の視点を大切にしながら、豊かな国際感覚と多様な文化を柔軟に理解する心情を育むとともに、積極的に外国語を用いて日本やふるさと天童の良さを適切に発信することができるコミュニケーション能力を養うことを目指し、英語教育の充実を推進します。

特に、小学校と中学校の連携を図りながら、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの4つの技能をバランス良く伸長し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力と主体的な姿勢を養います。

《施策》

1 英語教育パワーアップ事業

(1) ALTの配置

- ・小・中学校合わせて8人の配置。小学校3・4年生の外国語活動と小学校5年生以上の英語の授業の補助

(2) 実用英語技能検定受験推進事業

- ・第2回英検を9月29日に実施、277人受検（25.7%）

(3) パワーアップイングリッシュクラスの実施

- ・英語によるコミュニケーション活動をとおして、生徒の「聞く」「話す」技能を主とした英語力の向上を図る
- ・8月2日～4日の夏休み期間中に実施（年間8回中3回実施済み）、市内中学1年生20人が参加
- ・内容は、ビンゴゲームや伝言ゲーム等
- ・今後、冬休みに2日間、春休みに3日間実施予定

基本目標



生涯にわたる学びを支援する

生涯学習・社会教育の推進

生涯学習課

市民一人ひとりが生涯にわたって充実した学習活動を行い豊かな人生を創造できるよう、大学との連携による学習活動を展開し学習機会の充実を図るとともに、学校や家庭、地域と連携した行事の開催など多世代交流による学習活動を推進します。

また、生涯学習の場となる図書館などの施設をより一層充実させ、学習活動に対する支援や情報の提供を行います。

社会教育については、市民がそれぞれの価値観やライフステージに応じた学習活動を主体的に行うことができるよう、幅広い世代が気軽に集い交流できる場である市立公民館の利用拡大を図るとともに、社会情勢の変化や利用者のニーズに合わせて市立公民館の整備を進めます。

また、社会教育において重要な役割を担う社会教育関係団体の活性化を図るとともに、市民自らが課題を見つけ解決を図ることを目的とした地域づくり委員会活動を推進します。

《施策》

《生涯学習課の推進》

1 明治大学・天童市連携講座の実施（令和5年度は5回程度の開催を予定）

対面による連携講座

- ・いつもでも健やかに過ごすための「簡単体操とストレッチ講座」
講師：明治大学文学部専任講師 宮脇梨奈 氏 参加者17人
- ・子ども科学教室 スライムの科学～いろいろなスライムを作ろう～
講師：明治大学理工学部専任准教授 本田貴之 氏 参加者10人

2 市立図書館の利用推進

(1) 新1年生パック事業（393人利用登録）

(2) コワーキングスペースの設置（9月末現在）

- ・コワーキングスペース 1, 020人
- ・第2コワーキングスペース 1, 261人

(3) 読書推進事業

ボランティア団体による読み聞かせ、落語会、こどもまつり、本の交換市・リサイクル市、つちだよしはる絵本原画展、ライブラリーカフェ等

(4) リノベーション事業

東北芸術工科大学との連携協定に基づき、市立図書館リノベーション事業を今年度から実施。

令和5年度はリノベーション事業の指針となる基本計画の策定を行っている。

- ・ 5月中旬～7月上旬 関係者等ヒアリング
- ・ 6月29日、9月12日 基本計画策定懇話会
- ・ 7月19日、8月1～2日 先進地視察
- ・ 8月26日 第1回デザイン会議
- ・ 10月5日 市長中間報告

【今後の予定】

12月3日に第2回デザイン会議、12月下旬ごろに第3回基本計画策定懇話会、1月中旬ごろに市長素案報告、2月中旬ごろに議会説明を予定している。

【全体スケジュール】

年度	内容	指定管理
令和5	基本計画策定	1年目
令和6	基本設計・実施設計	2年目
令和7	改修工事（第1期：施設設備、書架等）	3年目
令和8	改修工事（第2期：外構）、開館準備、開館	1年目

3 市民プラザの生涯学習の振興

(1) 生涯学習講座の開催

137講座 8,431人受講（9月末現在）

(2) 学習支援室（ちえふる）の利用推進

7,382人（9月末現在）

4 高原の里交流施設「ぼんぼこ」の事業

(1) ぼんぼこ塾の開催（全9講座） 塾生23人

(2) 第16回ぼんぼこ里山コンサート 10月1日（日）開催

《社会教育の推進》

1 市立公民館事業

地区レクリエーション大会、公民館フェスティバル、各種教室等の開催を通し、地域住民の親睦が図られた。

2 市立公民館の管理・運営

(1) 施設整備

令和6年度着工(予定)の市立荒谷公民館改築工事実施設計

(2) 修繕等

市立寺津公民館正面玄関改修等

(3) 分館施設整備・活動への支援

分館の修繕・備品購入及び分館活動に対する補助

3 社会教育関係団体活動への支援

市連合青壮年会・市連合婦人会・市子ども会育成会連合会・市PTA連合会

4 放課後子ども教室推進事業

市立公民館を中心に、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりの確保と地域全体で子どもを育成する「地域の教育力」向上を目的として事業実施

(天童南部・天童中部・天童北部・成生・蔵増・寺津・津山・山口・長岡・干布)

5 青少年健全育成事業

(1) 青少年指導センターによる定期的な巡回街頭指導の実施

(2) 青少年問題協議会の開催 5月31日(水)

(3) 青少年健全育成市民集会の開催 7月8日(土)

《地域づくり委員会活動の推進》

地域の特色を生かし、地域住民自らが地域課題を発掘・整理し、自主的な活動を行っている。

指定文化財を適切に保存するため、現地調査により状況を確認し、管理者や保護団体の保護活動に支援を行うとともに、未指定の文化財や民俗芸能について、研究者などの協力のもと調査・研究を進め文化財の適切な保存や活用を図ります。

また、文化財に関するパンフレットの作成や歴史講座、史跡めぐりの開催などにより文化財を身近に感じてもらい、文化財をとおして郷土への親しみや関心を育みます。

西沼田遺跡公園や旧東村山郡役所資料館などの文化財関連施設については、適切な維持管理を行い、出土した遺物や貴重な郷土資料の展示や公開により本市の歴史に触れる機会を提供するほか、体験学習、企画展の開催や地域活動と連携することにより、地域の活性化を図ります。

《施策》

1 文化財の保護、啓発及び活用の推進

(1) 文化財保護審議会

第1回目 7月12日開催

市指定文化財候補及び愛宕神社幣殿格天井絵及び厨子入り勝軍地藏立体曼荼羅と収蔵資料にかかる報告等

第2回目は2月ごろを予定

新市指定文化財にかかる諮問及び答申を予定

(2) ふるさと歴史講座

6月17日 「片隅古文書資料～青柳村出入一件をめぐって～」

(3) 市民史跡めぐり 中止

2 国指定史跡「西沼田遺跡」の維持、管理及び活用

(1) 「ニシヌマタックル」(4月29日～5月7日) 1,018人

(2) 開園15周年記念事業

「古代ムラde手づくりマルシェ」(5月28日) 2,000人

(3) 「海より山より西沼田」(7月29日～8月19日) 974人

(4) 市外小学校の修学旅行受入れ(9月末現在) 3校 135人

3 文化財の所有者及び保護団体等への支援

若松寺観音堂、格知学舎庭園の維持管理に対する支援

ジャガラモガラ、カクレトミヨ生息地等の保護活動に対する支援

4 カクレトミヨ生息地の環境整備

(1) 重機による陸生植物の除去 高木川 10月下旬に予定

(2) アメリカザリガニの駆除 第2ひょうたん池 計3回

(3) 個体数調査 11月中旬に予定

基本目標



誰もが学べる環境を整える

就学支援等の推進

教育総務課

家庭の経済事情にかかわらず、すべての子どもたちが未来に希望を持ち、それぞれの夢に向かって頑張ることができるよう、教育費の負担軽減を図ります。

小・中学生に対しては、学用品費など就学に必要な費用を支援するとともに、多子世帯への支援を継続して行います。

高校生や大学生に対しては、就学の支援を推進するための事業の充実を図ります。

また、経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難な状況にあるひとり親家庭の子どもに対して学習支援を進めます。

《施策》

1 扶助費

- (1) 準要保護 支給人数 295人 支給額 15,922千円
(前年同月比△21人)
- (2) 要保護 支給人数 2人 支給額 103千円
(前年同月比 +1人)
- (3) 特別支援 支給人数 166人 支給額 2,901千円
(前年同月比+15人)
- (4) 被災支援 11月末まで申請を受付し、年度末に支給を行う。
(前年度支給人数1人)

2 私立高等学校生徒学費支援事業

補助対象者 19人 (前年度比△1人)

3 やまがた就職促進奨学金返還支援事業

認定者 22人 (前年度比+1人)

4 市奨学基金支援事業

貸付人数 1人 (前年度比±0人) 返還者数 12人 (前年度比±0人)

5 給食費の第3子以降無料化事業

決定者 小学校 337人 中学校 35人 計 372人

(前年度比+4人)

(内、市外通学者 3人 (東桜学館ほか))

決定額 小学校 17,364千円 中学校 1,940千円

計 19,304千円 (前年度比+686千円)

基本目標



5 学校の安全・安心を未来につなぐ

学校教育施設の整備

教育総務課

児童・生徒が安心して学べる安全な環境を整備するため、学校施設の安全点検を継続的に実施するとともに、学校施設長寿命化計画に基づき、施設改修を計画的に進めます。

また、情報化社会で生き抜く力の育成を目指したICT環境の整備や、障がいを持ち特別な支援が必要な児童・生徒が安心して学校に通えるよう、学校施設のバリアフリー化を進めます。

《施策》

1 学校施設の維持管理

(1) 長寿命化計画に基づく改修

ア 小学校トイレ改修工事（天童北部小・蔵増小・長岡小）

イ 照明設備LED化工事（天童南部小・成生小・高掬小・第三中）

ウ 体育館屋根・床塗装工事（天童中部小）

エ 体育館床塗装工事（天童北部小）

(2) 学校施設の安全点検等における指摘事項や危険箇所の改善

改善に向けて工事を実施（別紙1）

2 ICT環境の整備

(1) iPad用画面保護フィルムの整備 3,300枚（未整備の小中学校分）

3 学校施設のバリアフリー化

長寿命化計画に基づくトイレ改修を行い、段差解消や車いす使用者が利用できる多目的トイレを設置した。

今後ますます高度情報化が進む社会において、たくましく生き抜く児童・生徒を育てるために、授業におけるICT機器の積極的かつ効果的な活用を図ります。

また、教職員の「働き方改革」を積極的に推進し、教職員が子どもとじっくり向き合う時間や、授業の準備を十分に行う時間を確保することにより、学校教育の質の向上を目指します。

《施策》

1 ICT活用推進事業

(1) ICT支援員派遣事業

- ・ICT機器を活用した質の高い授業づくりを推進するためのICT支援員を全小中学校に派遣。年間1,260時間のうち443.5時間実施(9月末現在)。

(2) ICTスキルアップ講座

- ・ICTを活用した授業づくり研修会を10月17日に開催 41人参加

(3) 指導者用デジタル教科書事業

- ・指導者用デジタル教科書(任意の2教科)を全小中学校に整備
小学校：国語 5校、算数10校、社会 4校、理科 5校
中学校：社会 4校、理科 4校

2 教職員の働き方改革推進事業

(1) 部活動指導員の配置(全中学校に1人ずつ)

- ・教職員の部活動に係る業務負担軽減
- ・生徒の安全確保及び専門的指導の充実

(2) 校務支援システム活用事業

- ・全小中学校における総合型校務支援システムの運用に伴う紙公簿類の廃止
- ・事務作業や管理業務の効率化による長時間勤務の是正
児童生徒の出欠状況や保健情報の管理
通知表や指導要録、各業務日誌等の作成
公務情報の集約及び整理
教職員の勤務時間の客観的把握及び管理 等

徹底した衛生管理に努めるとともに、食物アレルギー対応給食を実施し、安全・安心な学校給食を提供します。

また、地産地消の推進を図り、特別献立や地域の食文化、季節の行事給食など工夫を凝らしたメニューを提供し、学校給食の充実に努めます。

さらに、望ましい食習慣を形成し、豊かな心と人間性をはぐくみ、食と健康な体づくりの大切さや地元の農産物、郷土の文化への理解を深めるため、栄養・給食指導などによる食育を推進します。

《施策》

1 炊飯施設等整備事業

炊飯施設及び食物アレルギー対応給食調理室の建設
令和5年6月着工、令和6年3月完成予定

2 学校給食食材高騰支援事業

これまでと同様の給食を安定的に提供するため、食材購入の値上げ分に相当する費用を市が負担し保護者の負担軽減を図っている。

3 学校給食・衛生管理の充実

- (1) 職員及び学校給食配膳職員の腸内細菌検査の実施 月2回
- (2) 衛生管理研修会の開催 8月2日(水)

4 食育の推進

(1) 栄養教諭による栄養指導

学校訪問による指導 4月14日、17～21日 天童中部小
6月5日、7日、12日、15日 蔵増小
7月26日 寺津児童館
学校給食センター見学时 6月6日(火) 山口小
9月1日(金) 干布小

(2) 交流給食

モンテディオ山形 5月10日(月) 蔵増小
7月19日(水) 天童南部小
生産者等との交流 6月22日(木) 第三中

(3) 行事給食や地域の食文化給食などの特別献立の提供

地域の食文化給食5回、行事給食6回、健康献立給食12回
その他(モンテ応援献立、お好み献立など)14回

5 食物アレルギーへの対応

「卵、乳」について食物アレルギー対応給食を提供
卵対応23人、卵・乳対応6人、乳対応1人 計30人

No.	学校名	工事名 (内容)	事業費	備考
1	天童南部小	西渡廊下天井裏改修工事	(工事) 9,625 千円	工期 R5.6.8~R5.9.15
2	天童中部小	体育館屋根及び床塗装工事	(工事) 17,358 千円	工期 R5.5.24~R5.10.31
3	天童北部小	体育館床塗装工事	(工事) 4,950 千円	工期 R5.5.22~R5.9.15
4	成生小	図書室改造工事	(工事) 2,200 千円	工期 R5.5.16~R5.8.31
5	蔵増小	いなほルーム床改修工事	(工事) 1,265 千円	工期 R5.6.26~R5.9.15
6	高揃小	南校舎教室改造工事	(工事) 26,840 千円	工期 R5.5.19~R5.10.31 ※施工中
7	長岡小	グラウンド東側駐車場増設工事	(工事) 1,287 千円	工期 R5.4.26~R5.7.28
8	荒谷小	昇降口前通路土留改修工事	(工事) 2,640 千円	工期 R5.6.8~R5.9.15
9	南部小 津山小	屋外遊具改修工事	(工事) 3,685 千円	工期 R5.5.26~R5.9.15
10	天童北部小 蔵増小 長岡小	トイレ改修工事	(工事) 321,530 千円 (監理) 3,254 千円	工期 R5.5.8~R6.2.22 ※施工中
11	天童南部小 成生小 高揃小 第三中	照明設備 LED 化工事	(工事) 117,298 千円 (監理) 2,365 千円	工期 R5.5.15~R6.1.12
12	小中学校 14 校	防犯機器設置工事 (荒谷小、第一中以外)	(工事) 3,190 千円	工期 R5.5.11~R5.10.31 ※施工中

(2) 教育委員会として、今後重点的に講ずべき施策について

ア 不登校の対策について

1 本市の不登校の現状

(1) 市内小中学校不登校発生率の推移（国、県との比較）

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	天童市	10 0.30%	8 0.24%	10 0.30%	10 0.30%	10 0.30%	24 0.74%	38 1.19%
	山形県	202 0.36%	219 0.41%	249 0.47%	278 0.53%	344 0.67%	428 0.86%	685 1.40%
	全国	31,151 0.50%	35,032 0.54%	44,841 0.70%	53,350 0.83%	63,350 1.00%	81,498 1.30%	105,112 1.70%
中学校	天童市	53 3.15%	40 2.45%	29 1.87%	36 2.26%	38 2.38%	62 3.78%	79 4.85%
	山形県	752 2.45%	801 2.71%	861 3.01%	875 3.12%	882 3.19%	1,126 4.11%	1,388 5.19%
	全国	103,247 3.00%	108,999 3.25%	119,687 3.65%	127,922 3.94%	132,777 4.09%	163,442 5.00%	193,936 5.98%
小・中学校	天童市	63 1.26%	48 0.97%	39 0.80%	46 0.94%	48 0.98%	86 1.76%	117 2.43%
	山形県	954 1.11%	1,020 1.22%	1,110 1.35%	1,153 1.43%	1,226 1.56%	1,554 2.01%	2,057 2.71%
	全国	134,398 1.40%	144,031 1.47%	164,528 1.69%	181,272 1.88%	196,127 2.05%	244,940 2.57%	299,048 3.17%

→昨年度の本市の不登校発生率は、小学校、中学校ともに、県、国と比べ低い状況である。

→しかし、R3年度と比較し、本市小学校では58.3%増、中学校では27.4%増となっており、国の増加率(小学校29.0%、中学校18.7%)を上回っている。特に、小学生の不登校の増加が懸念される状況である。

[参考] 今年度(4月～7月)の本市の状況 ※()内はR4年度同時期
小学校15人(8) 中学校37人(29)

2 今後の方針について

(1) 新たな不登校を生まない取組の充実

昨年度の本市不登校児童生徒のうち「新規」不登校の割合は、小学校で63.2%、中学校で64.6%を占めており、小学5年生から中学2年生で多い結果となっている。

これらの新たな不登校を生まない「未然防止」の観点から、下記の取組の充実を図る。

- ①日々の授業や学校生活の中で、児童生徒が「学校に来ることが楽しい」と感じられるような学校づくり（授業づくり・集団づくり）
- ②特別支援教育の視点の再確認と hyper-Q-U アンケート結果の活用
- ③不登校の兆候が見られた場合の初期対応と組織的支援
- ④児童生徒の SOS の出し方並びに教職員の受け止め方に係る学習や研修の充実
- ⑤小中連携の強化（出欠席情報等の確実な引継ぎ）

（2）別室登校する児童への支援の拡充

昨年度の調査では、不登校の要因として、小学校、中学校ともに「無気力・不安」「生活リズムの乱れ」等、本人に係る状況が最も多い。

しかし、令和2年度に国が不登校児童生徒に対して行った調査では、「学校を休んでいるときの気持ち」として、「勉強の遅れに対する不安があった」との回答が多く、また、「最初のきっかけとは別の学校に行きづらくなる理由」が「ある」と回答した児童生徒のうち、「勉強がわからない」との回答が最も高い割合となっている。

特に、不登校傾向の拡大が懸念される小学校において、せっかく登校しても教室に入れない別室登校の児童への支援体制の確立を検討していく。

（3）学校内外における教育相談体制の充実

昨年度、本市不登校児童生徒のうち、学校内外で相談・指導等を受けておらず、適切な支援につながっていないケースが見られる（小学校 15 人（39.5%）、中学校 11 人（13.9%））。各校が毎月学校教育課へ提出する「不登校児童生徒個票」を活用し、特定の教職員だけが抱え込むことなく、学校内外で専門的な相談を受けられるよう働きかけていく。

イ 学校施設の暑さ対策について

1 現状

近年、異常気象ともいえる猛暑が続き、学校での教育環境も大きく変化している。本市では、H24から他市に先駆けて小中学校における空調設備の整備を行い、通常教室だけでなく特別教室にも全て空調が整備されているが、一部の学校では、空調を入れても涼しくならないという状況が生じているため、空調の運転時間を延長したり、別の教室へ移動したりするなどして対応した。

2 対策

(1) エアコン分解清掃の実施

設置後10年を目安にエアコンの分解清掃を行い、冷房効果を高めている。

(R3:二中 1,748 千円、R4:三中 1,914 千円、R5:四中 3,465 千円)

(2) 体育館窓への遮熱フィルムの貼付

断熱効果を持つ遮熱フィルムを、部活動利用があり使用頻度の高い中学校体育館に貼付した。

(R4:一中 4,103 千円、R5:二中・三中・四中 8,536 千円)

(3) 気化式冷風機の導入

R5に、避難所としても稼働実績のある三中体育館へ、気化式冷風機4台を導入した。体育の授業や部活動において、生徒のクールダウン用として効果が見られた。県の補助金を活用し、12月議会に中学校への追加購入の補正予算を計上予定である。

3 今後の課題

中学校体育館に貼付した遮熱フィルムについては、気温の上昇が抑えられるなど一定の効果が見られた。

教室等の断熱対策については、特に対策が必要な二中と三中について、R6に天井断熱材の設置工事を行う予定である。また、天童中部小の天窓についてR6に改修工事を行いたい。なお、遮熱フィルム以外の断熱対策についても、その効果や経費、施工期間等について、専門家の意見等を踏まえて調査研究する。